

インターネットを使う時は注意して

インターネットは「公共のもの」



インターネットは多くの人利用します。「友達に伝える」「いたずら」「冗談」のつもりで発信したことが世の中の多くの人に伝わり、トラブルになったり、犯罪に利用されたりすることがあります。情報を発信する際には「これを世の中の人に伝えてもよいか」をよく考えましょう。

誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）は犯罪

主にSNS上で、悪口を言いふらして相手を傷つける「誹謗中傷」が大きな問題になっています。現実の生活でもインターネット上でも、相手が傷つく行いをするのは許されません。誹謗中傷が問題となった場合は発信者が特定され、悪くすると罰を受けることもあります。



「なりすまし」に注意して

インターネット上では簡単に他者のふりをすることができます。中学生の女子だと思って話していた相手が中年男性ということもよく起こっています。「なりすまし」をする側には悪意があることがあります。犯罪被害を受ける場合もあるということを常に頭の片すみに置いておきましょう。

「親に見せられない写真」は送らない



人には見られたくない写真を相手に送ってはいけません。一度送ってしまったために、「その写真を拡散させる」などと脅され、さらに別の写真を要求される事件がよく起こっています。写真を送る前には、その写真を自分の親や友達が見るかもしれないことを想像しましょう。

困ったらお家の人や先生に相談する

インターネット上では子どもに解決できない問題も起こります。注意していても何かのトラブルに巻き込まれたり、被害にあったりすることがあるかもしれません。まずは自分の身を守ることを大事にし、迷わず家族や先生に相談しましょう。



お家の人とよく話し合い、ルールを作ってインターネットを使いましょう